



「日本の棚田百選」に選ばれて
いる山形県山辺町の「大蔵おおむらび
の棚田」が収穫の秋を迎え、刈
り取った稲を天日干しにする
「杭掛け」が整然と並んでいる
—写真、富永健太郎撮影—。

杭掛けは、高さ約2mの杭に
稲を積み上げて自然乾燥させる
農法。まんべんなく乾かすため、

実りの秋 だんだん

上下を入れ替えながら3週間ほ
ど乾燥させて脱穀する。2.6畝
に約1000本の杭が並び、棚田を
黄金色に染めている。棚田の再
生に取り組む団体代表の稲村和
之さん(70)は「天日で乾燥させ
たコメの味は格別。地域に伝わ
る農法を末永く守っていきたい」と話した。